

2019

ThreeBond

RACE REPORT

Vol.01



第1戦/第2戦 4月20日(土)/4月21日(日) 鈴鹿サーキット

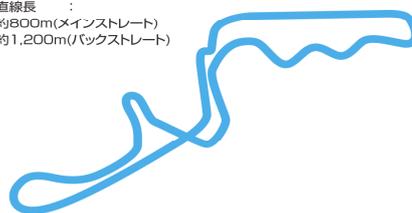
〒510-0295 三重県鈴鹿市稲生町7 9 9 2

TEL: 059-378-1111

WEB: <http://www.suzukacircuit.jp/>

コース全長 : 5,807m
コース幅 : 10~14m
高低差 : 52m
直線長 :
約800m(メインストレート)
約1,200m(バックストレート)

at SUZUKA



FUJI XEROX
富士ゼロックス多摩株式会社

QMI
beyond the invisible



KAJIMA

KS Material Co.

NEC

BANDO

EXEDY

NGK
SPARK PLUGS

SUNTORY
BOSS
COFFEE

TOYOBO

zaxxon

RAVS

SHIBA

KRS
KTEL RACE SERVICE

Swift

OBYSSEY

wpc

PATRICK

DESCENTE

リポビタンD

天候：晴れ
気温：19℃

全日本F3選手権開幕！

4月20日～21日、全日本F3選手権シリーズRound 1（第1戦、第2戦）が、三重県の鈴鹿サーキットで開催された。全日本F3選手権シリーズ復帰3年目を迎え、今季のドライバーには大津弘樹（12号車）、三浦愛（13号車）を起用し2台体制で参戦した。大津選手は、2017年の全日本F3選手権シリーズで1勝、2回のポールポジションを記録しシリーズ5位となった後、昨年はSUPER GTシリーズGT300クラスを戦い、2年ぶりのF3復帰で、経験を期待しての起用である。三浦は2014年全日本F3選手権シリーズNクラスにデビュー、Nクラスでは4回の優勝を記録している女性トップドライバーで、女性が活躍する場を拡大しようという弊社の企業方針と、モータースポーツの未来を考慮し選抜した選手である。

大津選手 予選8番手

三浦選手 予選10番手と共に苦戦。

▽公式予選

4月20日（土）午前11時40分から公式予選が始まった。30分のセッションで記録したベストラップタイムで第1戦、セカンドベストラップタイムで第2戦のスターティンググリッドが決まる。

当日の鈴鹿サーキットは快晴となった。チームはセッション開始ギリギリまでタイヤをピット裏の日向に並べて太陽光でウォームアップをはかり、セッション開始直前にマシンに装着、2台のマシンをコースへ送り出した。

近年、トップチームはコース上でのウォームアップを1周のみ行い、2周目にタイムアタックに入る傾向がある。大津選手もそれに沿ってコースイン後1周のウォームアップを行いタイムアタックに入った。しかしタイヤは十分発熱せずタイムは1分53秒279に留まった。

現状のセッティングでは1周のウォームアップでは足りないと判断した大津選手とチームはインターバルを挟んだ2回目のタイムアタックではウォームアップを2周行ってタイムアタックに入った。しかし今度はトラフィックにひっかかりタイム更新はならず、1分54秒589に終わった。その結果、スターティンググリッドは第1戦が8番手、第2戦が11番手となった。

一方三浦選手は合同テストでの順位を目標にタイムアタックを行い、スターティンググリッドは第1戦が10番手、第2戦が8番手と決まった。

<第1戦>予選結果

Pos.	Name	Time
1	宮田 莉朋	1'51.305
2	Sacha Fenestraz	1'51.874
3	大湯 都史樹	1'52.174
4	小高 一斗	1'52.229
5	Charles Milesi	1'52.503
6	Enaam Ahmed	1'52.802
7	片山 義章	1'53.079
8	大津 弘樹	1'53.279
9	河野 駿佑	1'53.601
10	三浦 愛	1'53.733
11	山口 大陸	1'54.262
12	Ameya Vaidyanthan	1'54.338

<第2戦>予選結果

Pos.	Name	Time
1	宮田 莉朋	1'51.692
2	Sacha Fenestraz	1'52.111
3	小高 一斗	1'52.376
4	大湯 都史樹	1'52.460
5	Enaam Ahmed	1'52.946
6	Charles Milesi	1'53.090
7	片山 義章	1'53.149
8	三浦 愛	1'54.119
9	河野 駿佑	1'54.157
10	山口 大陸	1'54.556
11	大津 弘樹	1'54.589
12	Ameya Vaidyanthan	1'54.826



富士ゼロックス多摩株式会社



beyond the invisible



in KAJIMA

KS Material Co.

NEC

BANDO

EXEDY

NGK
SPARK PLUGSSUNTORY
BOSS
COFFEE

TOYOBO



RAVS

SHIBA

KRS
KTEL RACE SERVICE

Swift

OBYSSEY

WPC

PATRICK



リポビタンD

2019

ThreeBond

RACE REPORT

☀ 天候：晴れ
🌡 気温：20℃

第1戦 決勝 Race

大津選手 スタート直後でのオーバーテイク

三浦選手 我慢の 12Laps

▽第1戦

4月21日(日)午前9時50分、12周のシリーズ第1戦決勝レースが始まった。空には薄い雲が流れてはいるものの、天候は晴れ、路面はドライコンディションである。8番手グリッドに並んでいた大津選手はうまく加速して第2コーナーを抜けるまでに2台をオーバーテイク、6番手に進出した。三浦は10番手を守ってレースを始めた。

今シーズンに向けては体制の最終決定が遅れ、F3に復帰する大津選手が走り始めたのは4月初旬に富士スピードウェイで行われた合同テストからとなった。しかもここで不運にもエンジン(1基)がトラブルを起こし、開幕大会に向けてはリビルドしたエンジンを慎重に使用する必要があり、セットアップも遅れ気味で大津選手、三浦選手ともに戦いながらマシンの状況を確認する試行錯誤をしてのレースとなった。

レース中盤、大津選手、三浦選手とも前後に約1秒~3秒の間隔が開いて単独走行となった。レース後半になって前走車のペースが落ちてきたのを見た大津選手はスパートし間隔を縮めたが、オーバーテイクには至らず6位でフィニッシュした。一方、三浦選手はレース前半でタイヤを消耗させた結果、後半はペースが伸び悩み、自分のポジションを守ったまま12周を走りきってチェッカーフラッグを受けた。

6位でレースを終えた大津選手はドライバー部門のシリーズポイント1点、チーム部門のシリーズポイント1点を獲得した。



第1戦 決勝結果

Pos.	Name	Time
1	Sacha Fenestraz	22'41.563
2	宮田 莉朋	22'42.139
3	Enaam Ahmed	22'57.033
4	小高 一斗	22'57.647
5	大湯 都史樹	22'59.408
6	大津 弘樹	22'59.953
7	河野 駿佑	23'00.363
8	片山 義章	23'01.343
9	Charles Milesi	23'02.246
10	三浦 愛	23'11.212
11	山口 大陸	23'20.107
12	DRAGON	23'27.468

FUJI XEROX
富士ゼロックス多摩株式会社

QMI
beyond the invisible

URC

KAJIMA

KS Material Co.

NEC

BANDO

EXEDY

NGK
SPARK PLUGS

SUNTORY
BOSS COFFEE

TOYOBO

zaxxon

RAV3

SHIBA

KRS
KTEL RACE SERVICE

Swift

OBYSSEY

wpc

PATRICK

DESCENTE

リポビタンD

RACE REPORT

天候：晴れ
気温：20℃

第2戦 決勝 Race

大津選手 ポイント奪取ならず

三浦選手 スタートダッシュも後半に課題

▽第2戦

4月21日(日)午後4時35分、メインイベントのレースが長引いたため10分遅れでシリーズ第2戦の決勝レースのフォーメーションラップが始まった。太陽は傾いたが天候は快晴、ドライコンディションでのレースである。17週の決勝レースがスタートした瞬間、スタートが得意な三浦選手が8番手ポジションからうまく6番手まで順位を上げ第1コーナーへ飛び込んだ。11番手からスタートした大津選手は前方の選手がスタートに失敗した隙を突いて順位を上げ9番手へ抜け出した。

ところがここで最後尾にいたマーシャルカーがトラブルを起こしたためセーフティーカーがコースイン、競技車両は隊列を組んでセーフティーカーランに入った。セーフティーカーランは4周終了時点まで続き、レースは5周目から再開された。

大津選手は再スタート時に起きた接触で1台が脱落したため8番手へ順位を上げ、さらにペースの上がない前走車を追い、8周目の1コーナーで前走車がコースオフしたため7番手へ繰り上がり、前を走る三浦選手に迫った。最終コーナーのシケインへ向け三浦選手のスリップストリームに入った大津選手はひとつ目のシケインでイン側へ強引に飛び込んだ。

三浦選手をかわした大津選手はシケインを曲がりきって6番手へ抜け出した。しかし三浦選手は接触を避けるためアウト側へ脱輪、コースへ復帰する際に後続車の先行を許して9番手へ後退した。大津選手は第1戦に続き、シリーズポイント目指して6番手を守ろうと突進した。しかし後続車のペースがよく、16周目のシケイン手前でスリップストリームに付かれ、シケインでオーバーテイクを許さざるをえなかった。結局大津選手は7位、三浦選手は9位でレースを終えた。

大津選手はドライバー部門シリーズランキング7番手、チームはシリーズランキング5番手でRound1を終えた。シリーズRound2は、5月18日から19日、大分県オートポリスサーキットで1大会3レースイベントとして開催される。



第2戦 決勝結果

Pos.	Name	Time
1	宮田 莉朋	38'19.832
2	Enaam Ahmed	38'32.745
3	小高 一斗	38'33.499
4	大湯 都史樹	38'34.834
5	河野 駿佑	38'41.405
6	Charles Milesi	38'48.339
7	大津 弘樹	38'49.320
8	片山 義章	38'50.294
9	三浦 愛	39'01.621
10	山口 大陸	39'04.117
11	Ameya Vaidyanthan	39'05.118
12	DRAGON	39'27.732



RACE REPORT

ドライバーコメント

▽ #12 大津 弘樹選手

去年は1年GTで戦いましたが、F3は一発でタイヤを使い切るという意味でGTよりはるかに高いレベルの能力が問われるカテゴリなので、そこで力を出し切るのには簡単ではありません。予選は少し課題が残る結果でした。決勝1レース目は5番手のペースが落ちてきて、追いついていったのでプッシュしましたが届きませんでした。2レース目はスタートでうまく前へすり抜けられそうでしたが行き場を失ってしまい、アクセルを少し戻した際に再度、抜かれてしまいました。そこから1台ずつ着実に順位を上げていきましたが、最後の最後はブロックに及ばず、後続車にねじ込まれてしまいました。残り1周だったので守りたかった…悔しいです。三浦選手を抜いた時は少し強引すぎました。しかし、あそこでいかないと後続2台に抜かれてしまうと言う状況でした。三浦選手が避けてくれたので接触せずに済みましたが、申し訳ないことをしました。以後、チームメイトであることを再認識して気をつけます。今後のレースに関しては伊与木仁エンジニアのセッティングは勉強になりますので、この環境に感謝し1年後の成長を期待して頑張ります。

▽ #13 三浦 愛選手

エンジンもシャシーも今まで乗っていたクルマと特性が違ってありますが、私には比較的合っていて『乗りやすい』と感じます。そのままテストを重ね、鄭エンジニアとコミュニケーションを深めながら徐々にクルマも仕上げてこの週末を迎えました。予選も8番手と10番手でフリー走行の時より上のポジションに行けたし、1レース目の後半は、セットアップを読み違えて後半厳しくなり体力面でも厳しくてペースが上がりませんでした。2レース目は得意のスタートを決めて一時的ではありましたが入賞圏内も走れたので良かったです。鈴鹿は確かに体力面でキツイサーキットでしたが、岡山や、もてぎなど自分が得意とするサーキットでは結果を出したいと思っています。2レース目のシケインは、たぶん大津選手も止まりきれなかったようで、コース外に出ないと当たってしまいそうな感じだったので避けました。『大津君、ちょっと強引じゃない?』とは思いましたが、わたしも大津選手から吸収させてもらっているの、これからもお互い高め合っていければいいなと思っています。



RACE REPORT

▽ドライバーランキング

順位	ドライバー	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	合計	点差	
		鈴鹿	AP		岡山		SUGO	富士	SUGO		もてぎ		岡山											
1	宮田 莉朋/Ritomo Miyata	9	12																			21	—	
2	Sacha Fenestraz	5	7																				12	9
4	Enaam Ahmed	10	0																				10	11
3	小高 一斗/Kazuto Kotaka	3	5																				8	13
5	大湯 都史樹/Toshiki Oyu	0	2																				2	19
6	大津 弘樹/Hiroki Otsu	1	0																				1	20
	三浦 愛/Ai Miura	0	0																				0	21

*DNS : Do Not Start 棄権 *DNF : Do Not Finish リタイア *DSQ : Disqualified 失格

*1位10ポイント、2位7ポイント、3位5ポイント、4位3ポイント、5位2ポイント、6位1ポイント

PP(ポールポジション)、FL(ファステストラップ)は1ポイント追加

▽チームランキング

順位	ドライバー	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	合計	点差	
		鈴鹿	AP		岡山		SUGO	富士	SUGO		もてぎ		岡山											
1	B-MAX RACING with motopark	10	7																			17	—	
2	カローラ中京 Kuo TEAM TOM'S	7	10																				17	0
3	TODA RACING	2	3																				5	12
4	RS FINE	0	2																				2	15
5	ThreeBond Racing	1	0																				1	16
6	OIRC team YTB	0	1																				1	16

